

# With コロナ目指して！！

～休まない事業所へ～

施設名：介護老人保健施設 聖紫花の杜  
発表者：仲榮真 りえ子

## 【はじめに】

令和4年に入り、石垣島でも毎日2桁の新型コロナウイルスの新規感染者の報告が続いた。重症化リスクが高いとされる基礎疾患を持った高齢者に多く利用していただいているため、感染拡大予防の為に対策を強化した。地域での感染が広がる中でも営業を止めずにサービスを継続できている取り組みをここに報告する。

## 【事例紹介】

(取り組み期間) 令和4年1月12日～継続中

取り組みの内容(利用者・家族への協力依頼)

\*お迎えの時に検温し37度以上あるときは休んで頂き PCR 検査で陰性を確認するか一定期間自宅で体調確認していただく。

\*島外からの方との接触があった場合、本人・家族に風邪症状がみられる場合、PCR 検査にて陰性確認するか5日間の自宅での体調確認していただく。

\*利用者、家族にマスク着用の徹底を依頼。  
(職員への協力)

\*N95マスク・フェイスシールドの装着、ケア毎のアルコールによる手指消毒の徹底。

\*島外渡航時の PCR 検査を義務付ける。

\*送迎車、フロア内テーブルの座席を記録し、感染者が出たときに濃厚接触者の早期把握に繋げる。

\*毎夕、椅子・車いす・歩行器・寝台・パーテーション・送迎車両をアルコールでふき取り。テーブルは昼食前・昼食後・おやつ前・利用者帰宅後にアルコールでふき取り

行う。

## 【考察】

- ・取り組みの当初は家族から「急に休みと言われても困る」「いつも体温高めです」「家庭内でもほとんど関わっていない」等と言われて感染対策への厳しい意見もありましたが、何度も文書を配布したり、電話で説明を繰り返し行ったり、ケアマネにも説明の協力を依頼し、対応を重ねることで理解を得られるようになった。
- ・陽性や濃厚接触の連絡があったときにはすぐに同法人感染対策委員会に指示を仰ぎ、対応方法を家族・ケアマネに連絡した。
- ・家庭内感染者が続けて発生したときは保健所へ感染経路の報告を行い、事業所内感染ではないことを伝えた。
- ・濃厚接触者となった利用者に対する PCR 検査は同法人病院に事業所から予約を入れる協力をした。

## 【まとめ】

対策を通して、感染予防への利用者や家族・職員の意識も高まり、新型コロナウイルスだけでなく、風邪などの他の病気への予防にも繋がった。地域で『安心して利用していただける事業所』との評価を受け、新規利用依頼を受けることが出来ている。